



見守り機能の再構築を
小平駅周辺の活性化とまじげに
虹川 浩議員
(市議会公明党)



見守り機能の再構築で社会的孤立を乗り越え孤独死をなくそう

質問 ①市民を守る包括的な支援体制整備への早急な着手が必要だが、市長の認識と見解は。

②居住支援協議会の設置について、福祉との連携への見解は。

市長 ①生活上の問題が多様化等してきており包括的支援体制が必要である。本年度からコミニティソーシャルワーカーを増員するなど体制を整えている。今後も相談支援機関と連携を図り、課題解決に取り組んでいく。

②居住支援は福祉分野における対応が必要と認識している。今後も住居確保配慮者の支援

の在り方を研究等していく。

小平駅周辺の活性化等のため市長はどう考え何を進めるのか

質問 ①小平駅北口地区の再開発について基本的見解は。

②小平駅南口でのサマーフェスティバルが幕を閉じたが、今後の商店街の活性化への考えは。

市長 ①都市計画マスタープランのみどりつながる快適生活都市の実現に向けて必要な事業と認識しており、中長期的な重要施策として位置づけ、市街地再開発準備組合を支援している。

②コロナ禍ではまずは事業継続の下支えが不可欠であり今後の状況に応じ支援を行っていく。



コロナ禍の生理の貧困
コロナ禍での高齢者世帯の支援
きせ恵美子議員
(日本共産党小平市議団)



コロナ禍の生理の貧困について

質問 ①生理用品の配布状況は。

②生理用品の配布、設置場所は各施設のトイレにすべきでは。

③学生を含めた生活困窮者への支援強化は。

市長 ①6月下旬から、市民協働・男女参画推進課、子育て支援課、小平市男女共同参画センターひらく、公民館11館、図書館8館、市立小・中学校27校及び大学6校で配布予定である。

②衛生面等の課題があるため考えていない。

③生活相談支援センターで相談を受けている。引き続き個別

の状況に応じた支援等していく。

コロナ禍から見えてきた高齢者世帯の支援について

質問 新型コロナウイルス感染症の影響による見守り活動の現状と課題は。

市長 地域包括支援センターによる見守り及び民生委員・児童委員による訪問見守り活動は、控えざるを得ない状況が続いており、対面による生活状況等の確認が十分できないことが課題である。また、介護予防見守りボランティアや高齢者見守り協定締結事業所による見守りは、日々の生活等において可能な範囲での活動を行っている。



子どもを守るためオリ・パラは中止を
コロナワクチン接種
細谷 正議員
(日本共産党小平市議団)



子どものため夏のオリピックパラリンピックは中止を

質問 ①会場には何人で引率か。また、不参加の場合の取扱いは。

②都に小・中学生の観戦職員を中止を求めべきだが見解は。

教育長 ①小学校5年から中学校3年までは児童・生徒20人当たり引率教員1人、特別支援学級は、児童・生徒4人当たり引率教員1人を基本とし、さらに引率責任者1人が引率する。不参加は、欠席扱いとはしない。

市長 ②今後の新型コロナウイルス感染症の状況によるが、現状においては安全に実施できることを前提に、教育委員会と連

携し、準備を進める必要がある。

新型コロナワクチン接種は希望する市民に迅速・安全な接種を

質問 ①集団接種及び個別接種が難しい人への対策は。

②接種をいつまでに完了する計画なのか明らかにすべきでは。

市長 ①集団接種会場や医療機関へ行くことが困難な人が一定程度いると認識している。現在、いくつかの方法を検討している。

②ワクチンの供給量や接種体制等、流動的な部分が多く全体的な接種計画を立てることは難しい。市民に対しワクチンの供給量等を見ながら、随時、接種体制等を市報等で広報していく。



小平市の災害対策について
男女共同参画社会の実現のために
さとう悦子議員
(生活者ネットワーク)



小平市の災害対策の力を高めるために

質問 ①防災用井戸設置の検討に向けて、進捗状況は。

②避難所機能充実への検討は。

③地域防災計画策定において男女共同参画をどう担保するか。

市長 ①他自治体の先例等の情報収集に努めている。

②安全性等を確保し、プライバシー保護や生活環境を良好に保つよう努めることが求められる。ハード面では施設改修や建て替え等の機会を捉え検討する。

③国作成の男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドラインを参考に策定等進めている。

調査結果の特徴は。

質問 ①市民意識・事業所実態

市長 ①市民意識調査は性的マインリティーの認知度等の設問が追加され、結果からワーク・ライフ・バランスは理想と現状で開きがあると分かった。事業所実態調査は今回新たに行い、市内の現状は、休暇は比較的取得しやすい等の結果が得られた。

②庁内の独自研修や、東京都市町村職員研修所が実施する研修等への職員派遣を継続する。



子どもの権利の視点を市の施策に
ケアラー支援の充実を
山崎とも子議員
(生活者ネットワーク)



東京都子ども基本条例を小平市の施策に生かしていくために

質問 ①子ども自身が悩みを相談できる公的機関はあるか。

②市の全ての施策に子どもの権利の視点は反映されているか。

市長 ①子ども家庭支援センターやティーンズ相談室では子ども本人からの相談に応じている。

②子どもや保護者を直接対象とする施策は多くが児童福祉法を根拠としており、当然に児童の権利に関する条約の精神にのっとり進めている。子ども等を直接対象としない施策も内容に応じて子どもの視点を配慮し、施策を推進するよう努めている。

ワークライフケアバランス実現に向けてケアラー支援の充実を

質問 ①厚生労働省が行ったヤングケアラーの実態調査報告について市の受け止めは。

②市職員や福祉関係者にケアラー支援についての研修は行っているか。

市長 ①家族に代わって家事や介護などを担う18歳未満の子どもの実態が明らかになったものと受け止めている。

②現在実施しているものはないが、ケアマネジャー等のケアプラン指導研修において、ケアラーに関する理解を深めるような取組を検討していく。



市民協働・男女参画推進課や子育て支援課などで配布されている生理用品
(写真は、市役所2階の子育て支援課窓口前)



市民自治・参加と協働の意義の
見直し／公園整備のあり方
山浦まゆみ議員
(生活者ネットワーク)



新市長のもと自治・参加と協働の意義を見直し組織再構築を

質問 ①市民と行政が自治・参加・協働の意味を共に理解し行動していくため、自治基本条例や関連計画等を協議などとする組織の設置が有効だが、見解は。

②さらなる進化のため政策企画部門に市民協働を置くなど大胆な組織改革も必要だが見解は。

市長 ①参加や協働の推進は、自治基本条例を踏まえ市を挙げて取り組んできており、改めて協議・検討する組織を設置する考えはないが、引き続き市民と行政が共に協働等を理解し取り組めるよう推進していく。

②自治基本条例を踏まえ、市政運営全般で参加・協働を据え連携しており、総合的調整を企画政策部が担っているため企画政策部内への設置の考えはない。

再び、公園整備のあり方について問う

質問 一部の使えない公園遊具について、情報提供はどのようなか。QRコード活用等リアルタイムで状況が把握できる仕組みは検討しているか。

市長 修繕について施工期間が不確定なものもあり詳細な情報提供は行っていなかったが、今後は可能な範囲で現地掲示するなどの情報提供に努めていく。



小平駅前整備等を進めるべき
子どもたちを事故から守ろう
山田大輔議員
(政和会)



小平駅前、一橋学園駅前の整備や再開発を早急に進めるべき

質問 ①小平駅前、一橋学園駅前の整備の進捗状況は。

②小平駅南口からルネこだいらまでの動線の確保については。

市長 ①小平駅北口は、再開発準備組合が関係機関と協議しながら事業計画案の検討を進めている。準備組合では、事業計画案等に対して権利者説明会の開催等を行い合意形成を進めている。一橋学園駅周辺は、都市計画事業による整備の予定はない。

②一定の有効幅員が確保されており安全性等を持った動線は確保されていると認識している。

大切な子どもたちを事故から未然に防ぎ、命を守ろう

質問 ①宮城県の小中学校で校庭の防球ネットが倒れた事故を受け、市立小・中学校のスポーツ器具等の緊急点検を指導したか。

②市立小・中学校のスポーツ器具等の保守点検は毎年業務委託しているが過去5年間に重大事故につながる報告があったか。

教育長 ①直ちに防球ネット等の緊急点検を実施しており、状態の悪い設備は修繕を実施した。

②直ちに重大事故につながる報告はないが、経年劣化による不具合が生じている場合には状況を確認し修繕等を行っている。